

## とぜき 戸関遺跡（その４）

戸関遺跡では、最後の調査区の調査が終わりをむかえつつあります（写真１）。この調査区では平安時代の建物が７棟以上みつかりました（写真２）。これらの建物の周りからは「りよくゆうとうき緑釉陶器」と「かいゆうとうき灰釉陶器」が出土しています（写真３）。これらは釉（うわぐすり）がかけられた国産の陶器で、平安時代を中心にみられるものです。このうち緑釉陶器は当時の高級品で、戸関遺跡には有力者とつながりを持った人々がいたことがうかがえます。本遺跡では完形の灰釉陶器も出土していて、平安時代の人々が使っていた食器の一部が垣間見えます。



写真１ 平安時代の建物や溝の跡



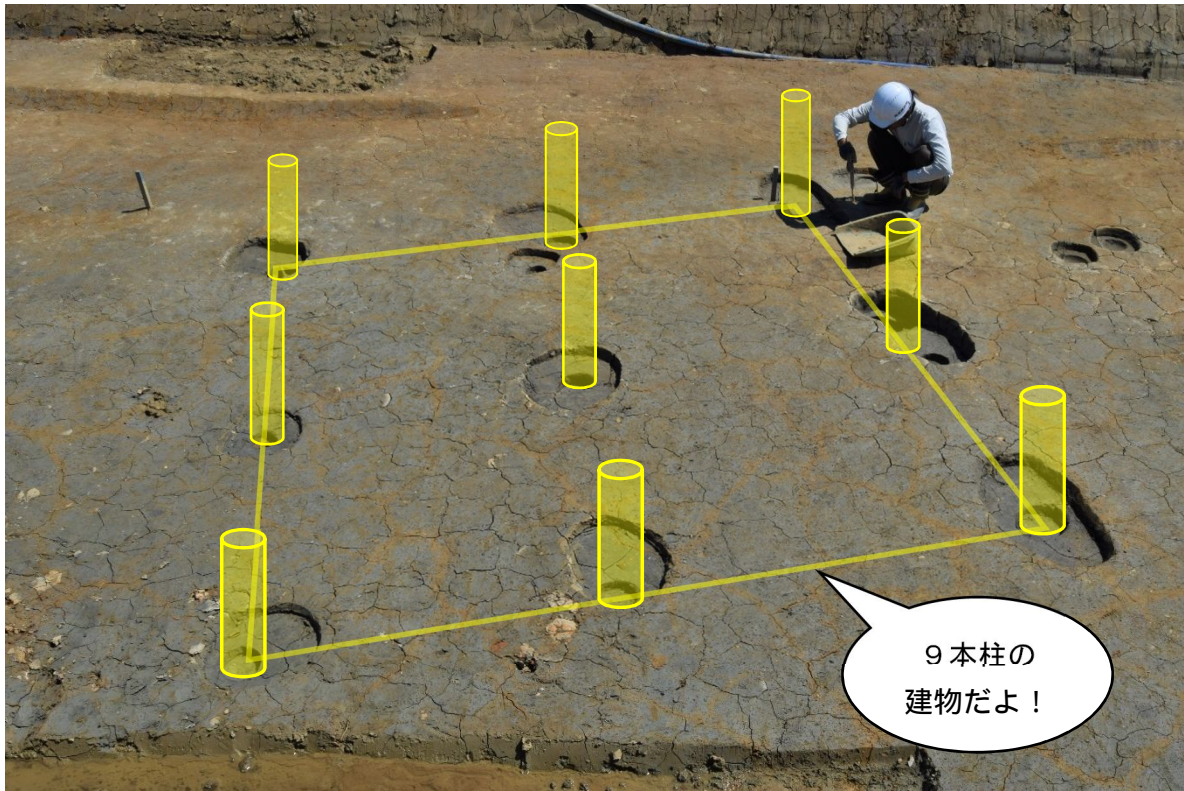


写真2 平安時代の掘立柱建物



写真3 戸関遺跡出土の緑釉陶器（下段）と灰釉陶器（上段）

問い合わせ先

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

三重県埋蔵文化財センター 調査研究1課

電話：0596-52-7028 FAX：0596-52-7035